

日本広告業協会 AI ポリシー

一般社団法人 日本広告業協会は、今般総務省・経済産業省が公表した「AI 事業者ガイドライン」の「人間中心の AI 社会原則」および3つの基本理念（Dignity、Diversity & Inclusion、Sustainability）を尊重し、「共通指針」の10の事項に基づき、協調可能な領域において積極的に連携を図るとともに、AI が内包するリスクを認識しつつ、AI 開発・活用による独自の企画・サービス提供、AI サービスの健全な利用を通じて、公正な競争による広告業界の発展と、広告主はじめすべての生活者の幸福に寄与してまいります。

< 広告業界として取り組むべき姿勢 >

広告業界は、AI システム・サービスの開発者・提供者・利用者いずれの立場にもなりうることを認識し、憲法や知的財産関連法令、個人情報保護法をはじめとする関連法令、AI に係る個別分野の既存法令等日本国の法律、国際法の遵守と本ポリシーおよびAI 事業者ガイドライン等の遵守を会員各社に促します。

また、AI の技術進化とそれに伴う潜在的リスクの増大、日本ばかりではなく国際社会における変化など、恒常的な状況変化を踏まえ、AI に関する業界共通の課題を把握し、広告主をはじめとする様々なステークホルダー、関連業界ならびに隣接業界とも共有を図り、ガバナンスの在り方などを継続的に議論し、見直してまいります。

1) 人間中心

- ・人間の尊厳と個人の自立を尊重し、多様性・包摂性の確保に努める
- ・多様なステークホルダー、潜在的に影響を受ける人々、AI の恩恵を享受できない人々などあらゆる生活者の存在に十分に配慮し、個人の尊厳・権利の侵害や不利益となる懸念を内包することを理解の上、不適切な利用は避けるよう努める
- ・偽情報・誤情報・偏向情報等に基づく「なりすまし」や「非広告的な表示」など、意思決定、認知、感情の操作につながりかねないリスク排除に努める

2) 安全性

- ・生命・心身・財産および環境などへの配慮を常に行い、会員各社のコントロール範囲内での適正利用の担保に努める
- ・学習等に用いるデータの法的枠組みの遵守に努める
- ・不確かな情報の流通や著作権への抵触リスクなどの危険性を理解し、安全性を可能な限り担保したうえでの活用に努める

3) 公平性

- ・人種・性別・職業・国籍・年齢・政治的信条・宗教等多様な背景に基づく偏見や差別などバイアスの理解とその最小化を目指し、技術的に可能な範囲で排除に努める
- ・公平性を担保すべく、人間の判断の介在による提供・利用に努める

4) プライバシー・機密情報の保護

- ・個人情報保護法等関連法令の遵守と、会員各社のプライバシーポリシーの策定・公表、会員各社における広告主はじめ各取引先との機密情報の保護およびそれらに即した対応に努める

5) セキュリティ確保

- ・提供・利用するシステム・サービスの機密性・完全性・可用性を維持するよう努める

6) 透明性

- ・検証可能性の確保に留意をしつつ、データ収集の手法・プロセスやAI利用の事実を合理的な範囲で対外的に説明できるよう努める

7) アカウンタビリティ

- ・AIガバナンスに関するポリシー、プライバシーポリシー等の策定・公表など合理的な範囲でアカウンタビリティの確保に努める

< 広告業界が社会と連携し取り組むべき課題 >

8) 教育・リテラシー

- ・経営トップから従業員、広告主を含むステークホルダーへの正しい知識の啓発・教育をはじめ、AIに関わる者に対して十分なレベルのリテラシーの確保に努める
- ・人材育成やクリエイティビティ向上など広告業界の発展につながる活用に努める

9) 公正競争確保

- ・常に健全で公正な競争環境を維持するよう努める

10) イノベーション

- ・国際化・多様化を踏まえ、社会全体の技術革新に貢献する